



小林村大満舞團的東日本大震災受災地公演 在岩手縣山田町開始了來自台灣的支援和交流

小林村大満舞踊団の東日本大震災被災地公演
岩手県山田町への台湾からの支援と交流のはじまり

The Public Performance of the Taivoan Dance Troupe in Yamada, Iwate, a Town Hard-Hit by the Earthquake and Tsunami that Struck Japan on March 2011 Symbolizes the Support from and Interexchange with Taiwan

文・圖 | 原 英子 (岩手縣立大學准教授) 翻譯 | 蔡佳凌



接近觀眾席的表演和說明故事的螢幕。

2014年7月18日に高雄市小林村の出身者
でつくられる大満舞団が、東日本大
震災の被災地岩手県山田町を訪問し、公演をお
こないました。

台湾からの多額の援助に驚く

政東日本大震災では、台湾からの支援がア
メリカに次いで多かったため、当時、多くの日

2014年7月18日、由高雄小林村村
民組成の大満舞團，到訪東
日本大震災の受災地岩手縣山田町，並舉
行了公演。

台灣慷慨的捐助 令人驚訝

東日本大地震時，因為來自台灣的支援
只僅次於美國，在當時，讓多數的日本人為

本人が驚きました。2012年末の時点で世界の179の国と地域から日本赤十字社におくられてきた義援金は、総額227億円で、そのうち台湾からは29億円（13%）でした。官民あわせて144億円の支援があったと報じられています。その後、台湾と日本の歴史を知らなかった若い世代が台湾へ興味をもちはじめています。震災後、日本では台湾旅行者が増えました。岩手県の書店でも台湾旅行雑誌などを集めたコーナーをみかけるようになりました。

被災経験がつないだ小林村と山田町

大満舞踊団の山田町公演は大成功でした。立ち見の人がでるほどの人が来ました。演劇では、会話が交せられないけれども、日常の農作業のなかから知り合った男女が結婚にいたる内

之驚訝。2012年年末，從世界179個國家和地區捐贈至日本紅十字會的捐款總額為227億日圓，其中來自台灣的捐款是29億日圓，占所有捐款13%。根據報導，集結政府與民間的捐款，總共是144億日圓。在這之後，對於台灣和日本的歷史完全不瞭解的年輕世代開始對台灣產生了興趣。震災後，日本到台灣的旅行者增加了。在岩手縣的書店也可以看到集結台灣旅行雜誌的專區。

災害經驗 讓小林村與山田町聯繫起來

大滿舞團在山田町公演圓滿成功，來的觀眾多到甚至要站著看。雖然戲劇中演員沒有講話，卻看得出故事的內容，故事講得是一對男女在田裡工作時認識，直到結婚。利用旁邊的螢幕投影，介紹著小林村，撥放淺

大滿舞團和山田町扶輪社的合影。





容だということがわかりました。横においたスクリーンで小林村が紹介されました。浅井恵倫の動画をつかい、戦前の様子が写されました。2009年の土石流災害も写されました。公演が終わった時には、山田町の人たちは、なぜ大満舞踊団のひとつが山田町まで来てくれたのかを納得していました。最後に舞踊団の人たちが観客席をまわって握手をしました。そのあとには観客と団員とで記念撮影をしました。そのとき台湾の義援金で職場が再開できたとお礼をいう人たちがいました。台北まで台湾赤十字組織へお礼に行ったそうです。

山田町には台湾赤十字組織からの援助で、津波被害をうけた保育園が2つ、再建することができました。そのうちのひとつは、台湾への感謝をこめて「日台絆保育園」という名前に変えました。この保育園では台湾の旗と日本の旗が運動場と玄関にあげられています。また働く親をもつ小学生のための児童施設「放課後児童クラブ」が新たにつくられました。どの建物にも、台湾からの義援金で建てられたことを示すプレートが掲げられています。



日台絆保育園名稱由來的說明牌。

井惠倫の影片，顯現小林村戰前的模樣，也播放了2009年小林村土石流受災的災害情形。公演結束時，山田町の人們終於瞭解為什麼大滿舞團的人們要來到山田町。最後舞團的人們繞著觀眾席和觀眾握手，然後觀眾和團員一起拍了紀念照。還有一些因為台灣的捐款能再回到職場的人，向團員道謝，他們還到台北的台灣紅十字會去表示感謝。

在台灣紅十字會援助之下，山田町重建了受到海嘯災害的兩個保育園。其中之一，傾注對台灣的感謝，將名稱改為「日台絆保育園」（「絆」在日語裡意指人與人之間的情誼、情感牽絆）。在這個保育園當中，台灣的國旗和日本的國旗於運動場和玄關懸掛著。還有為了父母親還在工作的小學生，建設了新的兒童設施「下課後兒童俱樂部」。每個建築物的說明牌都標示著這是用台灣的捐款建置而成的。



日台絆保育園，台灣的國旗和日本的國旗於玄關懸掛著。



山田北小學課後兒童教室，為父母還在工作的小學生進行課輔。

新たな親善プロジェクト

小林村大滿舞踊團の山田町公演をきっかけに、新たな事業が始められようとしています。こ

の計画は、山田町へ小林村大滿舞踊團を紹介した台北南山ロータリークラブと山田ロータリークラブ、それに2つのロータリークラブを結びつけた東京浅草ロータリークラブの共同事業として計画されている。山田町にある2つの中学校の中学生へ作文を書いてもらって、優秀者には「小さな親善大使」になってもらい、高雄や台北へ10日程度短期滞在者を派遣する計画です。山田町の復興はなかなか進んでいませんが、台湾から支援を受けた人たちが、それぞれに小さな交流を始めています。



在大槌町臨時設置の便利商店，目前重建的進度並不算順利。

開啟新的親善計畫

小林村大滿舞團的山田町公演為契機，開始了新的計畫。這個計畫，是台北南山扶輪社、山田扶輪社、東京淺草扶輪社的共同計畫，台北南山扶輪社將小林村大滿舞團介紹至山田町，而台北南山扶輪社和山田扶輪社則是由東京淺草扶輪社幫忙牽線。計畫內容是邀請山田町兩個國中的學生們撰寫作文，優秀者可成為「小親善大使」，獲得機會派遣至高雄及台北短期10天左右的計畫。雖然山田町的重建工作不是很順利，但受到來自台灣支援的人們，各自也開始了小小的交流。

